



(株)津軽りんご市場営業だより

第52号 H28.6

生産者の皆様へ

発行：(株)津軽りんご市場
TEL 0172-72-1211

毎日のお仕事お疲れ様です。各地区の作柄及び生育状況等をお知らせ致します。



～ 本年産りんごの生育状況と管理 ～

1. 摘果

本年は、全般的に開花量が多かった為、結実量は概ね確保されているが園地によってはカラマツ(不受精花)や肥大のバラツキが見られている。中心果が欠落、または生育不良の場合は側果の中から形質の良いものを残すなど、見極めた摘果が必要です。摘果が遅れたり、成らせすぎると今後の玉伸びだけでなく花芽形成や樹勢維持に悪影響を及ぼすので、できるだけ早く適正着果に心掛けましょう。

2. 袋かけ

ふじは有袋にすることにより、つる割れの軽減や着色の向上、収穫期の分散のほか販売戦略上も重要です。特に本年は大玉傾向で、夏場の多雨によりつる割れの発生が懸念されるので、有袋栽培に積極的に取り組み、袋かけは7月10日頃をめどに終わるようにしましょう。

3. ビターピット対策

ビターピットは窒素施用量が多い場合や樹勢の強い樹に発生しやすく例年よりも樹勢が強いとみられる場合や、幼果期の少雨、8～9月の多雨、夏期の高温が予想される場合、特に本年は春からの少雨、かつ大玉傾向によりビターピットの発生が懸念される為、カルシウム剤の果面散布が重要になります。

スイカル(300倍、3～5回) セルバイン(400倍、3～5回) アグリメイト(500倍、5回)のいずれかを6月上旬～9月中旬まで単用での散布となります。

4. 病害虫の動き

病害虫の発生時期は平年より早く経過しています。黒星病の葉上病斑初発では平年より5日早い5月12日。モモシクイガ羽化初発日は平年より14日早い5月24日に始まっています。黒星病は昨年同様発生量は多

く、胞子の飛散量、降雨、発病葉の発生状況から考えて、感染時期は4月28～29日頃、5月10～11日頃と推定されます。

6月中旬以降果実への感染は少なくなるが葉では継続する為、間隔を守っての薬剤散布が重要です。また、緊密度を下げる為、被害葉・被害果を摘み取り処分するか、または土中に埋めるなど対策を取りましょう。

～ 津軽りんご市場連絡協議会からの6・7月の行事予定 ～

6月30日 擘峰会、連絡協議会、津軽りんご市場合同交流会

7月20日 生産販売交流会及び第16回ゴニンコントランプ大会

7月21日 スポーツ交流会



津軽市場管内 肥大調査結果(6月16日)

地区		品 種							
		つがる		ジョナ		王 林		ふ じ	
		横	縦	横	縦	横	縦	横	縦
板 柳	28年	3.6	3.6	3.7	3.9	3.5	4.2	3.1	3.3
	昨年比	95%	95%	93%	95%	92%	89%	91%	94%
	平年比	113%	110%	111%	111%	110%	110%	109%	105%
鶴 田	28年	3.5	3.5	3.8	3.9	3.5	4.2	3.2	3.4
	昨年比	92%	90%	97%	98%	97%	93%	94%	97%
	平年比	111%	107%	118%	114%	113%	113%	114%	111%
五所川原 金 木	28年	3.6	3.8	3.7	3.8	3.5	4.3	3.3	3.5
	昨年比	95%	103%	95%	95%	92%	91%	94%	97%
	平年比	119%	121%	117%	114%	119%	122%	119%	116%
柏・森田	28年	3.8	3.8	3.6	3.7	3.5	4.1	3.1	3.3
	昨年比	93%	95%	88%	90%	95%	91%	91%	92%
	平年比	118%	117%	115%	112%	116%	113%	117%	111%
鱒ヶ沢	28年	3.6	3.7	3.5	3.7	3.3	3.7	3.0	3.3
	昨年比	95%	95%	92%	95%	100%	93%	91%	92%
	平年比	117%	115%	118%	117%	116%	108%	113%	109%
新 和	28年	3.6	3.6	3.7	3.8	3.8	4.2	3.3	3.4
	昨年比	92%	92%	97%	95%	100%	93%	97%	94%
	平年比	117%	114%	119%	116%	122%	115%	118%	110%

※ 平年比は過去15年の平均値です《単位：cm》